

庄内町旅

山形県庄内町
観光ガイドブック

日本一
おいしい
お米のふる里

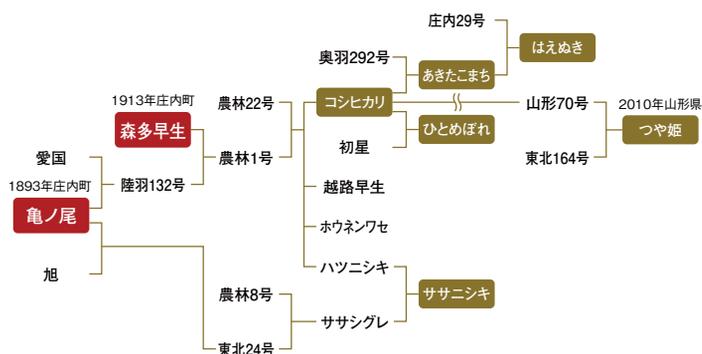
「お米の里」の源流めぐり
「亀ノ尾」発祥の地、庄内町の物語を辿ってみれば、
日本のお米の姿が見えてくる。



月山と庄内平野

おいしいお米の系譜

庄内町で生まれたお米が、日本のおいしいお米のルーツとなりました。



庄内町の民間育種家

明治から昭和にかけて、庄内町では7人の民間育種家が活躍しました。一つの地域にこれだけ多くの研究者が出たのは全国的にもめずらしく、特にこの2名が現代のおいしいお米につながる品種を誕生させたといわれています。



森多早生の
生みの親

森屋多郎左衛門 ▶

1892-1971 余目地区廿六木生まれ。22歳で育成した「森多早生」によって、後にササニシキとコシヒカリが生まれた。



亀ノ尾の
生みの親

阿部亀治 ▶

1868-1928 余目地区小出新田生まれ。立谷沢の熊谷神社で発見した3本の稲から「亀ノ尾」を誕生させた。



▲御瀧神社 H-4



▲亀ノ尾発祥の地 熊谷神社 H-4



▲平成の名水百選 立谷沢川 G-4

米どころ庄内平野の礎
北楯大堰

月山山頂の町、庄内町。霊峰月山の雪解け水は、「平成の名水百選」の立谷沢川へと流れ落ち、最上川へと注がれます。そして、その清流の水は水路によって平野部へと流れ、田を潤します。

現在、庄内平野に張り巡らされた多くの水路。庄内町の「北楯大堰」は、庄内地方の堰の元祖として、400年にわたって立谷沢川の清流を庄内平野に流し続けています。

時は江戸時代初頭。最上義光の命で狩川城主となった北館大学助利長公は、この地の水利の悪さによる荒野に心を痛めました。そして何とか

住民の暮らしを豊かにしようと、立谷沢川から水を引く大工事に着手。完成すると支流が次々と引かれ、多くの水田と集落が誕生しました。その後も吉田堰を始め、新たな堰が続々誕生。庄内平野は見事な水田地帯へと成長しました。

日本のお米のルーツ
亀ノ尾と森多早生

明治時代になると庄内町では稲作の技術革新が進みます。乾田馬耕や一般の農民が品種改良に取り組み民間育種もその一つで、小出新田の阿部亀治、廿六木の森屋多郎左衛門といった庄内町の民間育種家が、新しい品種づくりに取り組みました。

「シヒカリ」「ひとめぼれ」「つや姫」など、現在作付けされている品種のほぼ全てのルーツとなっています。

まち全体がお米の博物館

現在、庄内町では毎年晩秋に「日本一おいしい米コンテスト」を開催し、おいしいお米のルーツ「亀ノ尾発祥の地」として、全国において米づくりを発信しています。また町の人々の暮らしの中には、五穀豊穣を祈る風習や民族芸能など稲作を中心に創られてきた日本人の精神文化が、しっかりと根付いています。そんな日本の稲と米文化が生まれた地・庄内町で、お米を感じて味わう「おこめ旅」をしてみませんか。



▲四ヶ村獅子踊 D-3
(主殿新田皇大神社など)



▲日本一おいしい米コンテスト

全国の農家の方々が丹精込めて栽培したお米のおいしさを、食味計を使わず食べ比べ形式だけで決めるコンテスト。



▲「疎水百選」に選定された北楯大堰
G-2 F-2

「庄内開発の
恩人・水神様」



▲北館大学助利長公

1548-1625 慶長7年(1601)、狩川城主となり、北楯大堰の整備に尽力。「開発の恩人・水神様」として「北館神社」の御祭神となっている。

1 JR清川駅

G-1

10分

2 奇跡の稲、亀ノ尾の発祥地
熊谷神社/御瀧神社

御瀧神社の御神水で身を清めてから参拝します。

☎ 0234-59-2204

☎ 0234-59-2525

H-4



3 庄内平野の水路、はじまりの地

北楯大堰

疎水百選に選ばれている北楯大堰の姿をチェック。立谷沢川から水を引き、山際を通らせています。

G-2 F-2

10分



4 北館公を水神として祀る神社
北館神社

北楯大堰を整備した北館大学助利長公を水神様として祀る神社。近くの楯山公園は狩川城址跡といわれている。

☎ 0234-56-2709

F-3

5分



5 北館大学助利長公の墓所
見龍寺

永禄8年(1565) 創建。北館大学墓の他、大学公の功績を讃える塔や明治天皇巡行碑もあり。

☎ 0234-56-2103

F-3

5分



6 庄内平野の米作りを学ぶ
亀ノ尾の里資料館

阿部亀治など7人の民間育種家の功績や昔の農具・民具などを展示。

開 8:30~21:00、入館無料

☎ 0234-44-2162

D-3

5分

7 亀ノ尾の生みの親を讃える石碑
阿部亀治翁頌徳碑

「亀ノ尾」生みの親、阿部亀治を讃える碑は、出身集落の小出新田八幡神社境内にある。

D-2

10分



8 平成26年にオープン
庄内町新産業創造館
クラッセ

庄内町の観光の拠点。おいしいものを買って食べるならココ。

☎ 0234-43-6486

C-3

10分

※実際のルートはP30~32のマップを確認ください。

クラッセ



平成26年5月に、80年の歴史ある米倉庫を活用してオープンした農工商連携の複合施設。かつてお米を室温上昇から守ってきた白瓦の屋根の下には現在、レストラン「やくけっちゃん」の、「BarKameji」、なんでもバザール「あっでば」、カフェ「余目製パン」などが並んでいる。

【庄内町新産業創造館クラッセ】 ☎ 9:00~22:00 ☎ 0234-43-6486

【レストランやくけっちゃん】 ☎ 11:30~17:00 (食事は14:00まで)

☎ 0234-42-1666

【なんでもバザールあっでば】 ☎ 9:00~17:30 休無休(元旦以外) ☎ 0234-42-1777

【カフェ余目製パン】 ☎ 10:30~18:00 休火曜 ☎ 0234-42-1359

米蔵のむかしと今を訪ねる…



新鮮でおいしいままお米を調整・保存するカントリーエレベーター。巨大な建築物の中がどのようなになっているのか、見学希望の方はお問い合わせください。

☎ 0234-45-1504 (余目町農業協同組合)

月の山の天空へと続く道

最上川と立谷沢川が雄大に流れる平野部から、
月山の山頂まで。
ダイナミックに遊ぶ、しぜん旅。



月山 **G-7**
険しい岩肌となだらかな高原を併せ持つ月山は標高1,984m。開山シーズンは7月～9月。
☎0235-62-2355 (出羽三山神社)

出羽三山の主峰 月山山頂の町

江戸時代、松尾芭蕉が参拝し、「雲の峰 いくつ崩れて 月の山」と詠んだ月山は、湯殿山・羽黒山とともに出羽三山をなす山岳信仰の聖地です。7月～9月の開山シーズンにはクロコリやチングルマの群落が咲き誇り、多くの参拝者やトレッキング客で賑わいます。

月山山頂の町・庄内町ではシーズン中、山頂までのツアーを毎年開催。北麓に位置する北月山荘に宿泊すれば、登山口の月山8合目レストハウスまで、車で30分です。

新エネ百選に 選定された環境の町

庄内平野を最上峡に向かつていくと、田んぼの中に白い風車が数基立っています。今は全国に風車が数多くありますが、日本三大局地風のひとつ「清川ダシ」に苦しめられていた立川地区は、平成5年に全国の自治体で初めてとなる本格的風力発電施設を設置するなど、全国に先駆けて「風を活かした町づくり」を進めてきました。

庄内平野を見下ろす出羽丘陵にある風車村には、風力発電を理解するための学習施設もあり、風の町ならではの資源循環型社会を学ぶことができます。

日本の風力発電の魁



ウィンドーム立川(風車村) E-3
庄内町の風力発電への取り組みがわかる学習施設。屋外にはファミリー向けの風車村がある。☎9:00～17:00
休 月曜(4月～11月)、土・日・祝日(12月～3月) ☎0234-56-3361



ウィンドファーム E-2
400kw・600kw・1500kwと大型化する風車の歴史が学べる。

月山登山のベースキャンプ



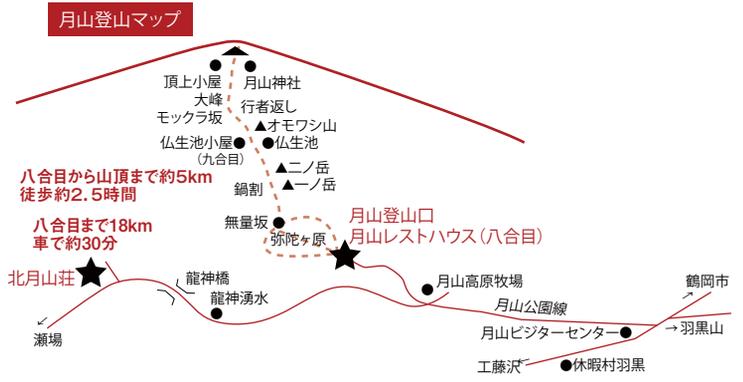
北月山ケビン G-7
鶴巻池のほどりにあるケビン村。同じエリアには北月山キャンプ場もある。定員6名。宿泊1棟9000円、4時間以上の日帰り5000円。
☎0234-59-2137 (北月山荘)



月の沢温泉 北月山荘 E-7
月山北麓にある北月山荘を月山登山の拠点に。施設詳細はP17へ。

庄内町から月山頂上へ

月山開山祭 G-7
庄内町では毎年7月1日の月山開山祭に参拝を実施。また、開山シーズンの夏に「霊峰月山登山・月山神社参拝ツアー」を開催している。



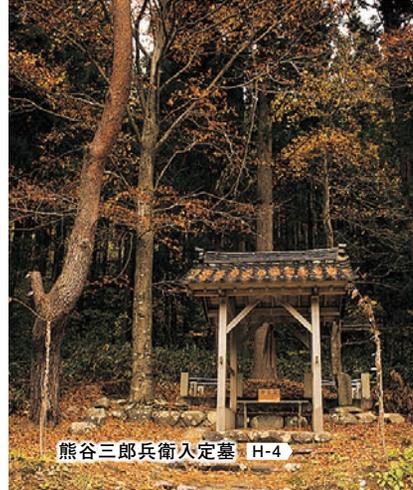
いにしえへと誘う歴史街道
最上川舟運で栄えた清川口から出羽丘陵に沿って羽黒山へ。
そこには信仰と共に生きた人々の心が静かに息づいている。



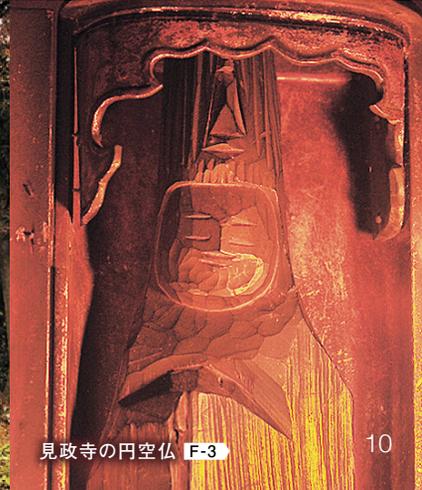
羽黒古道 G-5



最上川 G-1



熊谷三郎兵衛入定墓 H-4



見政寺の円空仏 F-3



▲冷岩寺の走り大黒 F-3

萬歳山冷岩寺の走り大黒は高さ約2m。出羽七福神の一つである。



▲白狐山光星寺 E-4

庄内には出羽三山信仰に基づいた「モリ供養」という独自の習俗があり、白狐山は「東の森」と呼ばれている。



▲霊輝院の乳イチョウ E-4

垂れ下がった多数の枝から乳白色の樹液が出たというイチョウの巨木。母親たちの信仰を集めてきた。



▲清河八郎

1830-1863年、清川村に生まれ育ち、18歳で江戸に行き、25歳にして文武指南の清河塾を開いた幕末の志士。後に新撰組となる浪士組を作るなど、維新の魁といわれる。

立谷沢川と最上川の合流地にある清川は、最上川舟運で栄えた宿場町。歴史を辿れば奈良時代まで遡り、清川にある御諸皇子神社は源義経一行が旅の一夜を明かした地として「義経記」に記されています。

中世以降は出羽三山参詣者たちの交通要所として賑わいました。芭蕉もこの地に上陸し、羽黒山へ。今も清川から羽黒山へと向かう出羽丘陵の両麓には、羽黒古道を始め、修行僧ゆかりの円空仏や霊木の乳イチョウなど、人々の祈りを象徴するかのような神秘的なものが多く残されています。

亀ノ尾発祥の地である熊谷神社の御祭神、熊谷三郎兵衛も出羽三山に導かれた一人です。江戸前期、由井正雪

の高弟だった熊谷は、慶安の変後、立谷沢の御瀧神社がある聖地に移り、厳しい修行を経て、最後は遺言を残して即身成仏へ。御祭神として以後多くの参拝者を集めました。

時を経て幕末になると、「明治維新に火をつけた男」といわれる清河八郎が清川から誕生。戊辰戦争では清川口が新政府軍と庄内藩の激戦地となりました。その時に命を落とした両兵士のお墓は、現在に至るまで地元民から大切に供養されています。

遙かなる時の物語を今に紡ぐこの地で、景色に刻まれた歴史に思いを馳せ、日本人の心をふり返る「こころ旅」、始めてみませんか。

- 1 **JR狩川駅**
F-2
10分
- 2 **信仰を集める不思議な霊木
乳イチョウ(霊輝院)**
県指定文化財(天然記念物)。神秘的な佇まいは一見の価値あり。
電 0234-56-2891
E-4
3分
- 3 **死者を弔うモリ供養
白狐山光星寺**
貞観3年(861年)開山。「東の森」とも呼ばれ、純金の仏像が現れた「星池」伝説が息づく。
電 0234-56-2533
E-4
5分
- 4 **県内唯一の円空作・観音さま
円空仏(見政寺)**
明治時代に羽黒山の修行僧が一宿のお礼にと置いて行った円空仏が安置されるお寺。拝観は要電話予約。
電 0234-56-2229
F-3
1分
- 5 **出羽七福神八霊場のひとつ
走り大黒(冷岩寺)**
文禄年間(1592~1596)開創。大黒天は庄内が米作地のため俵の上に乗っていないのも特徴。
電 0234-56-2141
F-3
10分
- 6 **河童に会える公園
荒鍋内川農村公園**
「荒鍋の河童」の言い伝えが残る地に整備された公園。河童の平吉と岩手県遠野から嫁いだ河童一家が住んでいる?! アサザの池も。
F-2
15分
- 7 **義民・熊谷三郎兵衛を祀る
熊谷三郎兵衛入定墓**
熊谷神社の御祭神、熊谷が即身成仏を目指して土中入定した墓地。熊谷神社駐車場向かいにある。
H-4

オプション

+

- 中世・三山信仰の路
「羽黒古道」トレッキング**
出羽三山の開祖・蜂子皇子伝説が宿る古道を地元住民が復活した道。片道1時間30分で羽黒山へ。
電 0234-56-2213(商工観光課)
G-5



※実際のルートはP30~32のマップを確認ください。

- 1 **JR清川駅**
G-1
10分
- 2 **日本を動かした幕末の志士
清河八郎記念館**
清河八郎関連の資料を収蔵展示。八郎を御祭神とする清河神社が隣接。
電 10:00-17:00(休月曜(12月~2月閉館))
料 大人400円 電 0234-57-2104
H-2
30秒
- 3 **戊辰戦争の激戦地
御殿林**
庄内藩主の宿泊所「御茶屋御殿」があった地で、戊辰戦争の戦場となった。現在は散策路が整備されている。
H-1
2分
- 4 **五月雨を集めて早し最上川
芭蕉上陸の地**
松尾芭蕉の庄内上陸の地。江戸時代には清川関所(川口番所)が設置され、物資や旅人の往来で賑わった。
H-1
10分
- 5 **清河八郎とお蓮の墓所
歓喜寺**
清河八郎とお蓮の墓所。戊辰戦争で戦死した庄内藩士のお墓もある。
電 0234-57-2134
G-2
5分
- 6 **義経が一夜を明かした地
御諸皇子神社**
義経ゆかりの品や大絵馬がある由緒深い神社。木造金剛力士像と木造狛犬は町指定文化財。
G-2
10分
- 7 **戦死した長州兵士の墓
官軍墳墓**
戊辰戦争で戦死した長州藩の兵士二人が葬られている。岸信介元首相が書いた碑文もある。
G-2

オプション

+

- 八郎が江戸へ向かった道
「回天の道」トレッキング**
清河八郎が18歳で江戸を目指した道を、藤沢周平の『回天の門』を参考に地元住民が整備した道。片道1時間30分。
電 0234-57-2104(清河八郎記念館)
G-4



※実際のルートはP30~32のマップを確認ください。

おすすめルート

RECOMMENDED ROOT

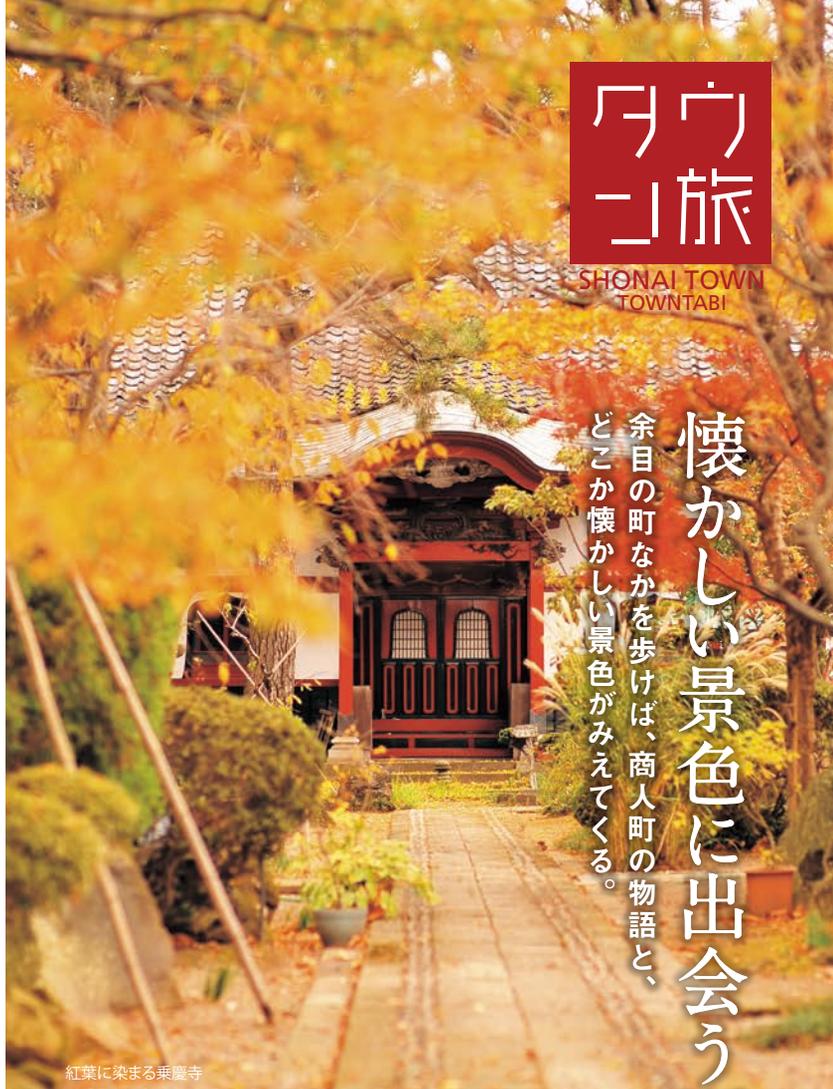
所要時間:約4時間

- 1 レンタサイクルを借りる
クラッセ **C-3**
- 2 工場見学OK!
株式会社マルハチ
地元農家との契約栽培の野菜作りから商品開発・製造・販売を一貫したサラダ感覚の浅漬メーカー。工場見学は要予約。 **B-2**
☎0234-43-3331
- 3 余目一帯を見守る鎮守の森
余目八幡神社
養老3年(719)創建。現社殿は文化11年(1814)に羽黒山三神合祭殿と同様式で建てたもの。 **B-3**
- 4 伝統を受け継いだ酒造り
やまと桜
明治23年(1890)創業。予約すれば見学可。☎0234-42-3013 **A-3**
- 5 亀ノ尾にこだわった酒造り
鯉川酒造
享保10年(1725)創業。庄内町産の亀ノ尾でも酒づくりをしている。見学は要確認。☎0234-43-2005 **A-3**
- 6 戦国武将の城跡に建つ寺社
梅枝山 乗慶寺
南北朝時代に創建。庄内札所三十三観音霊場第十四番。安保氏の供養塔や佐藤幸徳中将追慕碑がある。
☎0234-42-3410 **A-3**
- 7 工場に直売店あり
ハナブサ醤油
醤油や味噌、しょうゆの実などを製造販売。直売所はおみやげ選にピッタリ。☎0234-43-3012 **B-3**
- 8 入口は町立図書館から
内藤秀因
水彩画記念館 **B-3**
- 9 温泉入って汗を流そう
ギャラリー温泉 町湯 **C-3**
- 10 シメはやっぱりこちら
庄内町新産業創造館
クラッセ **C-3**



SHONAI TOWN
TOWN TABI

懐かしい景色に出会う町
余目の町なかを歩けば、商人町の物語と、どこか懐かしい景色がみえてくる。



紅葉に染まる乗慶寺



ハナブサ醤油

自転車であらゆる町を旅する
商店街が続く余目地区は、活気にあふれた商人の町。通りにはあちらこちらに昭和レトロな面影が残り、かつてのメインストリートだった表町には、昔ながらの酒蔵や醤油屋の風情が残っています。この地の歴史は古く、鎮守の森として信仰を集める余目八幡神社の創建は奈良時代。戦国時代には安保氏が治めていました。現在、その城跡に建つ乗慶寺には安保氏の供養塔が建立され、今も毎年供養祭が行われています。また同寺には、太平洋戦争時のインパール作戦において、軍の命令に反しても日本兵の人命を優先させた佐藤幸徳中将の追慕碑もあり、全国から参詣者が訪れています。歴史が息づく商人町を、散策してみませんか。

※実際のルートはP30~32のマップを確認ください。

北月山荘

KITAGASSANSOU



月の沢溪谷の静かな湯宿。

温泉は県内3カ所しかない珍しい酸性泉。

Data 月の沢温泉 北月山荘 住 庄内町立谷沢西山1-67 F-7

- 日帰り温泉 10:30~18:00 (冬季17:00まで) 大人350円、小学生200円
休 毎月第2火曜日と年末年始
- 宿泊 (素泊まり・入浴料込み) 大人3500円、小学生2000円 電/FAX 0234-59-2137
- 主婦レストラン「やまぶどう」 11:30~14:00
休 毎週火曜日と年末年始 (冬季営業については要お問い合わせ)

太陽光パネルと木質ペレットボイラーによるクリーンなエネルギーを、温泉の加温や室内暖房に利用しています。

町湯、それは上質のくつろぎ。



1/ 泉質はからだにやさしい単純温泉。サウナは熱波(ロウリュ)サウナ。
2/ 町家の通り庭をイメージしたギャラリー付きの休憩所。食堂も併設。



こだわりの
フレンドが生む
やみつきカツカレー



Data 庄内町ギャラリー温泉 町湯 C-3

住 庄内町余目字土堤下35-2 電 0234-43-2222 9:00~22:00 第2水曜定休
入浴料/大人450円、子ども220円 座敷利用/9:00~17:00 210円 町湯食堂 11:30~17:00

町湯



このじゆ編

いよ
な旅

SHONAI TOWN
INAKATABI



ココロがよろこぶ和み時間

いつでも、ここに行けば、
庄内町らしい時間に出会える。



清流・立谷沢川で
育ったイワナの
囲炉裏焼きは絶品だよ

食や自然に恵まれた小さな田舎町だからこそ、旅をするならゆくりした時間の中で美味しいものを食べて、地元の人たちと触れ合うような田舎旅がおすすです。月の沢温泉「北月山荘」は月山麓にある静かな宿。水と緑の景色が広がる温泉に身をゆだねたり、地元のお母さんたちの郷土料理を味わったり、囲炉裏焼きのイワナにかぶりついたりと思いの時が過ぎていきます。余目地区の温泉を楽しむなら、平成26年秋にオープンした庄内町ギャラリー温泉「町湯」がピッタリ。伝統的な町屋をイメージした建物のお湯に浸かりながら「おめでとうから来たなだ〜」あなたはどこから来たのですか〜なんて、庄内弁の会話が楽しめるかも。

Event Calendar

4月



▶ **楯山公園桜まつり** (4月下旬)
鯉あぶり、豚あぶり、カラオケ大会等開催。桜開花中は夜10時までぼんぼりが点灯される。
場所: 楯山公園 **F-3**

5月

- ▶ **北館神社例大祭** (5月1日)
場所: 北館神社 **F-3**
- ▶ **清河神社例大祭** (5月30日)
場所: 清河神社 **H-2**

5月-10月



▶ **砂金掘り体験** **G-6**
昔ながらの砂金掘りを体験。
場所: 南部山村広場
☎ 0234-56-2213 (商工観光課)



▶ **イワナつかみ取り体験** **G-6**
月山山系の川水で育てた養殖イワナを放流しての掴み取り。
場所: 南部山村広場
☎ 0234-59-2137 (北月山荘)

6月

▶ **植木・金魚まつり** (6月中旬) **C-3**
庄内金魚や植木など県内外の業者が出店。 場所: アピア駐車場



▶ **龍神月山** (7月下旬) **G-6**
オフロードバイクの耐久レース。
場所: 南部山村広場

7月



▶ **夏宵まつり** (8月12日) **C-3**
オリジナル飛龍囃子に合わせて、夏の宵を彩る演舞の競演。
場所: 余目駅前～茶屋町通り

- ▶ **御諸皇子神社例祭** (8月18日)
場所: 御諸皇子神社 **G-2**
- ▶ **狩川八幡神社例祭** (8月21日)
場所: 狩川八幡神社 **E-3**

8月

▶ **小出沼親水広場まつり** (9月上旬)
ジンギスカンまつりや魚つかみどり大会など地元パワーに溢れたまつり。 場所: 小出沼親水広場 **D-2**



▶ **余目まつり** (9月14～16日) **B-3**
大名行列、カラオケ大会、対抗相撲大会など。場所: 余目八幡神社ほか

9月

▶ **熊谷神社例大祭** (9月11日)
場所: 熊谷神社 **H-4**

10月

- ▶ **しょうない秋まつり** (10月初旬)
「食」をテーマとした大収穫祭。
場所: 庄内町総合体育館周辺 **A-2**
- ▶ **月山龍神マラソン** (10月中旬)
～名水百選・歴史の里・味覚マラソン～
場所: 清川グラウンド **H-1**

10月中旬



▶ **農業体験**
庄内町グリーンツーリズム推進協議会などで体験受け入れを実施中。
☎ 0234-42-2922 (観光協会)

11月

▶ **あなたが選ぶ日本一** **C-3**
おいしい米コンテスト (11月下旬)
場所: 庄内たがわ農協新余目基幹支所

12月



▶ **やや祭り** (1月中旬) **B-1**
少年たちが手桶の冷水をあび、無病息災等を願う。東北の奇祭として全国的にも知られている小正月の風物詩。 場所: 千河原八幡神社

1月

▶ **月の沢龍神冬まつり** (2月下旬)
巨大雪像やかまくら、すべり台など雪を楽しむイベント。
場所: 月の沢温泉北月山荘 **F-7**

3月

シーズン編

いななか旅

SHONAI TOWN
INAKATABI



由右工門ほうきづくり体験 (古閑地区)

庄内町古閑地区で昔から作られてきた由右工門ほうきのミニほうき作り体験。その伝統技の第一人者、川井由右衛門さんが直接指導してくれる。詳しくは庄内町観光協会へ
☎ 0234-42-2922

季節限定・いななか旅の楽しみ方

自然とともに暮らす庄内町で
四季折々の催しものを体験。



地元の人とローカルな楽しさ満喫

都会化されず、独自の時間の流れで発展してきた庄内町には、昔ながらの姿がたくさん残ります。近年注目を浴びている「ほうきづくり」もそのひとつ。かつての暮らしの中で必然的に生まれたこの伝統技を、地元の人から教わりながら体験するワークショップは、大量生産・大量消費に慣れている私たちに、モノとの関わり方を教えてくれます。町内各地の集落で行われる伝統祭も同じこと。昔と変わらぬ信仰と地域コミュニティの姿に、忘れていた何かを思い出すかもしれません。他にも立谷沢川溪流で行う砂金掘りやイワナつかみ取り、雪遊び体験など、その季節に、その場所ですしかできないことがたくさんあります。



からだ旅

SHONAI TOWN
KARADATABI

誰でも楽しめる交流の場

八幡スポーツ公園 A-2

屋外・屋内を合わせた生涯スポーツの拠点。
屋外／人工芝サッカー場(JFA公認規格)、
ソフトボール場、多目的広場
屋内／総合体育館、屋内多目的運動場、ほたるドーム

☎ 0234-43-3347
(庄内町総合体育館)

JAF公認国内常設コース



全長1,063メートル
東北最大級!

Soleil カートソレイユ最上川 D-2

全日本選手権やシリーズ戦なども開催され、トップレーサーが腕を競う。家族で楽しむことができる二人乗りのレジャーカートもある。

☎ 9:00～17:00(4月～11月)
☎ 月・火・水曜日(だたし、祝日の場合は営業)
☎ 0234-42-2282

自然豊かなロケーション



庄内ゴルフ倶楽部 F-4

陳清波プロ監修によるチャンピオンコース。レストランには平牧三元豚を使った豊富なメニューが並ぶ。

☎ 0234-56-3326(予約専用)

「町湯」とともに健康スイミング



アクア庄内(温水プール) C-3

25mプール。ベビースイミングから水中歩行講座まで各種コース開催。

☎ 10:00～21:00(日曜のみ10:00～19:00)
☎ 年末年始 ☎ 0234-42-1212

桜の名所、散策や釣りにも



小出沼親水広場 D-2

広場内にあるファミリー牧場は、羊やヤギに触れ合えるため、子どもたちに大人気。公園散策や小出沼での釣りなどもおすすめ。



ぶんか旅

SHONAI TOWN
BUNKATABI

音楽、演劇、絵画、陶芸、伝統芸能
庄内町の文化をめぐるとき

文化創造館響ホール B-4

大ホールは座席数504。音響設計に優れ、コンサートから演劇まで幅広く利用できる。小ホールは可動ステージがあり、ミニコンサートやリハーサル、展示会など多目的に活用できる。

☎ 9:00～22:00
☎ 年末年始のほか、全館清掃日(月1回)
☎ 0234-45-1433

大きく傘型に広がった美しい枝ぶり



弘田の地蔵のマツ B-4

昔、庄内藩のお城に松を植え替えたところ、每晚泣き声がかかるため六面地蔵と一緒に戻されたという松。樹齢400年。県指定文化財。

水彩画界の巨匠



初、イーゼルなど
画伯の遺品を展示

内藤秀因水彩画記念館 B-3

水彩画界の巨匠、故内藤画伯の作品約2000点を収蔵。年に4回展示入れ替え。

☎ 9:00～19:00(4月～10月)
☎ 9:00～18:00(11月～3月) ※土・日曜日は17:00まで
☎ 月曜・祝日(土・日曜は除く) ☎ 0234-43-3039

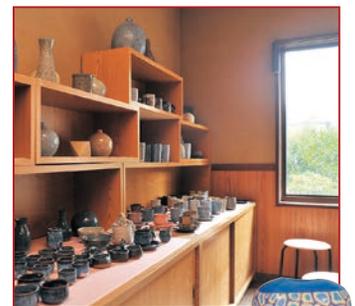
五穀豊穡や地域の安全を祈願



伝統芸能

5月～8月に開催される各集落の例大祭では、民族芸能が奉納される。期日や場所の確認は、観光協会まで。

風土に根ざした梵天窯



梵天窯ギャラリー C-4

陶芸家・齋藤勇による私設ギャラリー。庄内の土に彩色土を練り込んだ作品など、独特な作風が特徴。販売もしている。

☎ 0234-42-0350

お米の里庄内町は、ラーメン屋さんや食堂、レストランなどが軒を連ねる「おいしい里」。お目当てを見つけたら、のれんをくぐって、いざグルメ旅。



ラーメンショップ 椿

R47号線沿いにあるオレンジ色の看板が目印。豚骨ベースのつけ麺は並盛・中盛・大盛とも同じ料金で、食べるまで意外とアツサリしているかも!?

住 庄内町狩川字三番割122
営 9:30-18:00 休 月曜日(不定休あり)
電 0234-56-3223



田村食堂

スープによく絡む自家製麺は、モチモチとした食感のこだわり麺。チャーシューも人気があって、店内はリピーターを中心にいつも賑わっています。

住 庄内町跡字梅木41-3
営 10:20-(無くなり次第終了)
休 不定休 電 0234-43-3377



ラーメンとん太余目店

味噌を中心に醤油、塩、とんこつ、定番の味噌ネギラーメン。オリジナルの豆板醤で辛味を効かせたネギ辛口が旨味をグッと深める逸品です。

住 庄内町余目字土堤下28-5
営 11:00-24:00(L.O.23:30)
休 無休 電 0234-42-3966



つるや

ボリュームのある焼きそばにソースをお好みでかけて。懐かしくて素朴な味わいが楽しめます。手もみ麺を使った昔ながらの中華そばもあります。

住 庄内町余目字上猿田15-3
営 11:00-15:00
休 日曜日 電 0234-43-3901



軽食 ひまわり

ヤマザク直営だから、安くて美味しいラーメンと軽食が食べられます。お買い物中の休憩に、小腹が空いた時に。ボリューム満点!

住 庄内町余目字滑石38-1
営 10:00-19:00(L.O.18:30)
休 無休 電 0234-42-2211



パストラール

特製辛みその「辛みそラーメン」や、白ダイヤと評される海水100%の新潟産天然塩を使った「塩ラーメン」が人気。

住 庄内町余目字土堤下50-1
営 10:00-19:00
電 毎月第2火曜日
電 0234-42-3351



麺厨房 煌麺

白を基調にしたモダンなお店で、女性ひとりでも気軽に入店できる雰囲気です。場所は庄内町商工会の目と鼻の先。

住 庄内町余目字三人谷地13-11
営 11:00-14:30、18:00-22:00
(日曜日は昼のみ)
休 月曜日 電 0234-43-6635



中国料理 あじ彩

リーズナブルで本格的な中華料理は家族連れに大人気。ボリュームもたっぷりぶりでもお腹いっぱい。「あじ彩ラーメン」は旨みとコクが絶品!

住 庄内町余目字土堤下38-13
営 [昼] 11:00-14:30 [夜] 17:00-21:00
休 木曜日 電 0234-42-0850



中華そば 八千代

地元で愛されてきた塩味の中華そばは、飽きのこない昔ながらのやさしい味わい。わざわざ遠方から訪れるお客さんも。

住 庄内町余目字三人谷地1-2
営 11:00-15:00(麺がなくなり次第終了)
休 毎月7、17、27日
電 0234-42-2166



ラーメン 万人

人気の「からし味噌ラーメン」は自家製の辛味噌と極太ちぢれ自家製麺がスープと絡み合って、クセになる美味しさ。

住 庄内町余目字大塚78
営 11:00-14:00
休 火曜日(祝祭日と重なった場合は翌日)
電 0234-43-4780



中華料理 大門

特製皮にオリジナルあんを包んだ餃子はジューシーでやみつきになること間違いなし。チャーシューが贅沢にトッピングされた餃子ラーメンも絶品。

住 庄内町余目字三人谷地13-19
営 11:30-14:00※夜は宴会のみ(要予約)
休 火曜日 電 0234-42-3328



そば処 砂湯

元そば屋の店主が打つ自家製麺は、コシがあって喉ごしツルツル。スープは魚ダシの旨みが凝縮したあっさり風味。

住 庄内町廻館字盛利新田27-15
営 11:00-15:00(無くなり次第終了)
休 水曜日(祝祭日と重なった場合は翌日)
電 0234-43-4570



とんかつ定食

食事処 萬菜家

自家製の旬な新鮮野菜を中心に、メインの肉や魚も地産地消にこだわった農家レストラン。ボリュームも多し、ごはんもおかわり自由でコーヒータ。

住 庄内町廻館字上川前43-1
 営 11:30-14:00
 休 不定休 電 0234-43-8287



サッポロラーメン

食事処 花ドラ

味付けひき肉ともやし満載のサッポロラーメンは独自の特製みそを使用。もうひとつの看板メニュー「ホルモン定食」はカレー味でリピーター続出!

住 庄内町常万字惣惣124-1
 営 [昼]10:30-14:30 [夜]17:00-19:00
 休 火曜日 電 0234-42-3527



チョイ辛ラーメン

お食事処 七福亭

庄内人の口に合わせたオリジナル辛味噌のラーメンは、チョイ辛・辛口・激辛が選べます。丼ものは日替わりで、種物とのセットでも1000円以下!

住 庄内町添津字家の下23-1
 営 [昼]11:00-14:00頃 [夜]17:00-21:00頃
 休 水曜日 電 0234-56-2188



チャシュー麺

一幸食堂

ラーメンは麺からスープまですべて自家製。人気のチャシュー麺のスープは、こだわりの食材を3時間以上煮込んでダシをとったあっさり塩味です。

住 庄内町余目字沢田129-1
 営 11:00-15:00 休 毎月7、17、27日
 電 0234-42-3221



ランチ(浜の海鮮チラシ丼セット)

末廣

庄内産食材をふんだんに使った料理とお酒が愉しめるお店。ランチも充実していて、ボリュームの定食は11種類からお好きなものをチョイス。

住 庄内町余目字上猿田15
 営 [昼]11:00-14:00 [夜]17:00-21:00
 休 不定休 電 0234-43-3651



日替わりランチ

爽快旬風 和心

-2℃~0℃の氷点下の冷え冷え生ビールが美味あれ!!大小宴会(100名まで)、法事等承ります。

住 庄内町余目字土堤下38-1
 営 [昼]11:30-14:00 [夜]17:00-21:00 (L.O.20:30)
 休 水曜日 電 0234-42-1189



広東メン

食堂 川村

おすすめの広東メンは具だくさんのトロウま正油味。冷やしラーメンは夏のイチオン新定番!出前混雑時は閉店する可能性があります。

住 庄内町余目字町21
 営 11:00-19:00
 休 水曜日 電 0234-42-2179



中華そば

かなめ食堂

幅広いメニューがそろった大正12年創業の老舗。なかでも山形市内で本格中華を学んだ店主が作る「中華定食」は大人気。ラーメンは自家製麺。

住 庄内町余目字沢田130
 営 11:00-20:00
 休 不定休 電 0234-42-3068



おまかせランチ

農々家

米農家が手がけるのは、郷土料理をベースにした愛情たっぷりのコース料理。お昼も夜もリーズナブル。

住 庄内町廿六木字下台38-2
 営 [昼]11:30-14:00(要予約)
 [夜]お問い合わせ下さい(要予約・1組のみ)
 休 日曜日・繁忙期 電 090-7665-4701



中トロのにぎり・うなぎのにぎり

依田善

うなぎと酢飯の相性が抜群の「うなぎのにぎり」の他、甘みが違うマグロは築地のセリ場直送!お昼はにぎり、ちらし、バラちらしから選べます。

住 庄内町余目字猿田41-16
 営 [昼]11:00-14:00 [夜]17:00-21:30
 休 火曜日 電 0234-42-3335



五目ラーメン

三平食堂

麺は手打ちの自家製。煮干風味の特製ダレにつけこんだチャーシューがたっぷり入った「チャーシューメン」は塩味スープとの相性もバツグン。

住 庄内町余目字町136-2
 営 [昼]11:00-14:30 [夜]17:00-19:00
 休 火曜日 電 0234-42-3037



五目ラーメン

小林食堂

食堂の定番ものから自家製麺のラーメンまで。「冷かけラーメン」「味噌冷やし中華」などの変わりダネもあります。お米は庄内産はえぬぎを使用。

住 庄内町余目字三人地36
 営 11:30-19:00
 休 不定休 電 0234-42-2307



こみせんタコ焼(大)約8cm

鉄板焼こみせん

巨大なタコ焼きやお好み焼きなど、鉄板焼きならではのメニューがたくさん。

住 庄内町余目字猿田65
 営 11:30-14:00 (L.O.13:40)
 17:30-22:00 (L.O.21:30)
 休 月曜日(祝の場合は翌火曜日)
 電 0234-28-9222



ピュッフェ

北月山荘 食事処やまぶどう

昔ながらのだし取りから始まる地元食材を生かした食作り。10~15品からお好きなものを選んで召し上げられ、イワナの囲炉裏焼きも絶品です。

住 庄内町立谷沢字西山1-67
 営 11:30-14:00
 休 火曜日 電 0234-59-2137



カツ丼セット

成多食堂

化学調味料を一切使わないメニューは、野菜がたっぷりて体にやさしいものばかり。子どもへの配慮も行き届いているので子連れでも安心です。

住 庄内町家根合北裏149
 営 11:00-14:00
 休 月曜日 電 0234-42-2320



白湯麺

遠田食堂

昔ながらの食堂で、明るい店主が手がけるメニューはどれも野菜たっぷり。なかでも「白湯麺」「サッポロラーメン」はあっさり味で女性にも人気です。

住 庄内町廿六木字三ツ車2
 営 11:00-19:00
 休 不定休 電 0234-43-2622



味噌焼肉定食

Coffee&パブレストラン ホワイトハウス

10種類の定食や5種の焼きうどん、生果物たっぷりのパフェなど幅広いメニューがズラリ。11:00~14:00は10種類から選べるランチが人気です。

住 庄内町余目字大塚79-5

営 11:00-23:00

休 日曜日 電 0234-42-3317



ランチセット

Restaurant & Café Brillano

庄内産の有機・無農薬野菜などを使ったレストラン。ランチはメインが選べ、デザートは7種からのセレクト制です。

住 庄内町余目字三人谷地12-2

営 [ランチ] 11:30-14:00 [カフェ] 14:00-17:00 [ディナー] 18:00-22:00 (L.O)

休 水曜日 電 0234-42-3867



手打ちそば

手打ちそば 三治郎そば

メニューは季節の小鉢2品とお新香付きの「ざるそば」のみ。麺とダシを引き継いだ5代目が、自家製粉を使った玄そばを手打ちしています。

住 庄内町三ヶ沢白山口57

営 11:00-14:00 (予約制)

休 不定休 電 0234-56-3178



三色割子そば

手打ちそば しま田

古民家風な店構えがオシャレなそば屋さん。のどごしの良い細切りそばはつるつる食べやすく、幅広い層にオススメ。隠れ家的な雰囲気もグッド。

住 庄内町島田字孫六21

営 11:00-14:00 金・土・日のみ営業

休 月~木 電 0234-43-2551



旬の日替わり夕食

余目ホテル

地元の旬の野菜を使った料理に力を入れている老舗旅館。夕食のみの利用もできて、おいしくてヘルシーな朝食付きの1泊はなんと5400円!

住 庄内町余目沢田114

営 17:30-21:00過ぎ

※予約があれば昼も営業

休 不定休

電 0234-42-2442



季節のお膳料理

割烹 繁利屋

季節の地元産食材を使った昔ながらの純和食を、純和風のお座敷で。個室がズラリと並んでいて、小さなお子様連れでもゆったりと過ごせます。

住 庄内町余目字町170

営 16:00-21:00 (要予約)

※予約があれば昼も営業

休 毎月17日

電 0234-42-3035



鮮魚宴会

酒と仕出し かねこ

酒と魚のお店が営業する宴会場。新鮮な魚料理と、お店の販売価格の飲み物で、お得な宴会ができますよ!

住 庄内町余目字沢田123-1

営 [宴会] 10:00-22:00

(要予約)

[店] 8:00-19:00

休 毎月17日

電 0234-42-2149



季節のしゅん膳

長村旅館

昭和の時代を思わせる建物でゆったりとお食事を。イチオシは、庄内浜の新鮮食材を使った板前料理。和・洋・中・折衷とさまざまな味が楽しめます。

住 庄内町余目字沢田128

営 16:00-22:00

※要予約

休 不定休

電 0234-43-3046



松花堂(7品)

大安

性別、年齢、要望に応じた季節感あふれる本格料理は、豊富な品数でリーズナブル。特に鍋がっついた写真の「松花堂七品」はイチオシ。

住 庄内町余目字土塚下31-1

営 18:00~23:00

※要予約

休 年中無休

電 0234-43-4820

居酒屋

- やきとり一平 電 0234-42-0289
- 居酒屋かあちゃん 電 0234-43-3963
- 串処 35番(要予約) 電 0234-42-3035
- 居酒屋しょうじ 電 0234-43-3906
- 居酒屋二号店 電 0234-42-3564
- ニュー来人 電 090-3366-6473
- 兵六五余目店 電 0234-42-1285
- 居酒屋ひげ坊主 電 0234-42-3901
- 居酒屋ふぁみりい 電 0234-43-4795
- 居酒屋ほりこし 電 0234-43-8832

スナック・カラオケ

- VIP 電 0234-42-1830
- ヴィナスII 電 0234-42-3396
- ウエストパーク 電 0234-43-4784
- かゑん 電 0234-43-4288
- カラオケハーティ 電 0234-43-4820
- スナック パピヨン 電 0234-42-3816
- ほたる(要予約) 電 0234-43-4820
- ゆ〜みん 電 0234-42-1753
- ロザーナ 電 0234-43-4820

※「2014たべぶらパスポート」の参加店を紹介しています。



亀の粉サンサン

お好み焼き なにわ

豊富なメニューが自慢で、2000円からの宴会料理では、和・洋・中・多国籍と幅広いジャンルの味が楽しめます。飲み物類はなんと持ち込みOK!

住 庄内町余目字三人谷地24-2

営 11:30-21:00

休 水曜日 電 0234-43-3287



ハロークィーン

カフェレストラン 香林塔

食事はもちろんドリンク、スイーツと楽しいメニューがたくさん。平日の日替わりランチも好評です。

住 庄内町余目字上朝丸78-2

営 11:00-22:00 (日・祝日は21:00まで)

休 月曜日、月末は月・火曜日連休 臨時あり

電 0234-42-2253



板そば

蕎麦工房せき

月山で自家栽培した玄そばを店内で石抜き、磨き、粒そろえ、皮むきし、自ら石臼で製粉するというこだわり店。喉ごしツルツルの十割そばです。

住 庄内町余目字館之内41-5

営 11:30-15:00 ※無くなり次第終了

休 水曜日 電 0234-42-3083



庄内焼そば並盛

焼きそば専門店 テンテン

3年がかりで完成したオリジナルソースの後がけ焼きそばは、もっちり麺とたっぷりの具で、並盛でも満腹になりますよ!

住 庄内町余目字猿田1-2

営 11:00-15:00

休 不定休 電 0234-42-0884

おみやげ

SHONAI TOWN
OMIYAGE



庄内町ブランドの花
トルコギキョウ、ストック、菊などを町のブランド花として確立。

これぞ町の特産

からとり芋
庄内の在来作物。芋は煮物や芋汁に、葉柄をほした芋からは納豆汁や雑煮に。



庄内柿
庄内名産。庄内柿の加工商品も各種あり。



山菜

月山筍、わらび、こごめ、みず、うどなど、庄内町は山菜の宝庫。



やっぱりお米の里だから
庄内町のお米
亀ノ尾誕生の地の庄内米。生産者たちが手塩にかけて育てた逸品。

庄内町の
コメ商品



地酒
二つの蔵元によるこだわりのお酒各種。

かりんと百米
米農家で作るお米のかりんとう。味は黒糖、白糖、胡麻、庄内青きな粉、海老塩など7種類。



お米、食材、伝統食、特産品から、ひと工夫もふた工夫もされた開発商品まで、自慢できる庄内町のおみやげを一挙に紹介！



高品質庄内豚

庄内町は養豚業が盛んな町。特別飼料で育てられた肉質は低コレステロールで旨味も抜群。

跡の和がらし粉
和がらし粉は、練りがらしにはないまろやかさとコクが美味。

跡の青きな粉
跡地区で、江戸時代から続く伝統の手作りきな粉。青大豆を原料とし、甘みや風味がひと味違う！

跡の麦茶
昔ながらの鉄鍋で麦を炒る製法で作っている。懐かしい香ばしさが特徴。

ブナの水音

月山のブナ原生林から湧き出る天然水100%のミネラルウォーター。



あまるめおし
昔ながらの米菓子「おこし」に、特産の青きなこをまぶしたもの。



丸もち
東日本ではめずらしい丸い形。



槇島ほうきストラップ

かばんやキーホルダーにつけられるミニほうき。机の上のホコリも掃けて一石二鳥！

一風変わったおみやげに



庄内金 (振袖金魚)

庄内町で生み出された希少な品種。尾びれが長いのが特徴。泳ぐ姿が優雅で「振袖金魚」と呼ばれている。

☎ [庄内錦鯉センター]0234-42-0252
【成澤養魚場】0234-42-3539
【成沢よしみ養魚場】0234-43-3662

黒カステラ

竹炭をパウダー状にして練り込んだカステラ。「ハナブサ醤油入り」と「庄内産たまご使用」の2種類。



しそ巻

味噌にクルミ、トウガラシ、ゴマなどを加えて大葉で巻き上げ、油で揚げた郷土の味。

町自慢の郷土食



しょうゆの実

テレビの「ご当地調味料ランキング」で1位に選ばれた、庄内人のご飯のおとも。



笹巻

もち米を笹の葉で巻いて茹でたもの。きな粉などをまぶして食べる。



漬物

山形特産のあつみかぶや青菜、小茄子をサラダ感覚で漬け込んだ。見た目も鮮やかな地元ブランドのお漬物。



農産物交流施設 風車市場 E-2

とれたての農産物から加工品、民芸品まで、組合員が安心価格で提供するふれあい市場。軽食コーナーもある。

☎ 5~10月 9:30~17:30
11月~4月 10:00~17:00
火曜定休・年末年始休業
☎ 0234-56-3039



店内には庄内町の自慢の品がたくさん。

なんでもバザール あつてば C-3

地場農産物からスイーツ、手工芸品まで、庄内町産のものなら何でも揃う。

庄内町新産業創造館クラッセ内
☎ 9:00~17:30、定休日なし(元旦を除く)
☎ 0234-42-1777

庄内町旅ガイドマップ

庄内町観光レンタサイクル 無料 

新産業創造館 クラッセ 🕒 9:00-17:00 📅 12月~3月	清河八郎記念館 🕒 10:00-17:00 📅 月曜日、12月~3月	月の沢温泉 北月山荘 🕒 10:00-17:00 📅 第2火曜日、12月~3月
--	---	--

宿泊案内		
長村旅館	庄内町余目字沢田128	☎0234-43-3046
余目ホテル	庄内町余目字沢田114	☎0234-42-2442
民宿 ふじ	庄内町余目字上朝丸78-2	☎0234-42-2253
民宿 ふきのとう	庄内町余目字町106	☎0234-43-3209
平成館	庄内町余目字竹畑3-2	☎0234-42-3510
ビジネスホテル泉	庄内町余目字町204-6	☎0234-45-0210
民宿 源助	庄内町余目字町117	☎0234-42-3276
月の沢温泉 北月山荘・ケビン	庄内町立谷沢字西山1-67	☎0234-59-2137

観光ガイドの会

庄内町余目観光ガイドの会
—余目地区のガイドなら ☎0234-42-2922 (庄内町観光協会)

きよかわ観光ガイドの会
—清川地区のガイドなら ☎0234-57-2211 (清川公民館)

羽黒修験道の会
—羽黒古道のガイドなら ☎0234-42-2922 (庄内町観光協会)

交通案内	
余目タクシー	☎0234-43-2411
立川タクシー	☎0234-56-2128
町営バス	☎0234-42-0163
庄内交通(株)	☎0235-22-2600
関東観光バス(株)	☎0234-45-0234
松山レンタカー	☎0234-56-2440
関東自動車興業(株) 関東レンタカー	☎0234-43-2244

※実際の縮図とは異なりますのでご了承ください。



交通アクセス



交通のご案内

JR	東京	約120分	上越新幹線	新潟	約120分	羽越本線	余目駅		
	東京	約210分	山形新幹線	新庄	約40分	陸羽西線	余目駅		
飛行機	東京	約60分	羽田空港	ANA	約20分	庄内空港	車 庄内町		
	川口IC	約210分	東北自動車道	村田JCT	約80分	山形自動車道	酒田IC	約20分	国道47号

最寄りの施設からのご案内

●山居倉庫(酒田市)	車	で約20分	余目駅
●加茂水族館(鶴岡市)	車	で約50分	
●羽黒山/出羽三山神社(鶴岡市)	車	で約40分	
●湯野浜温泉(鶴岡市)	車	で約40分	
●あつみ温泉(鶴岡市)	車	で約60分	

・・・ さらに詳しい情報はこちら ・・・

庄内町情報館 (JR余目駅前クラッセ内)

庄内町観光案内窓口：観光案内、レンタサイクル、駅からハイキング受付
庄内町情報展示室：Wi-Fi利用可能、パンフレット設置、庄内町特産品等の展示
デジタルサイネージ(電子案内板)

庄内町観光ホームページ

庄内町観光情報 Navi庄内町
<http://www.navishonai.jp>

Facebook

 庄内町観光協会

庄内町の旬な情報をお届けします。

庄内町観光アプリ

庄内町観光アプリが下記より無料ダウンロードできます!



iOS版



Android版

☆つや美☆の庄内町観光ブログ



庄内町観光ガイド☆つや美☆が
庄内町のおいしいものや穴場スポットを紹介
<http://shonaimachikanko.n-da.jp>



【お問い合わせ】

庄内町商工観光課観光物産係・庄内町観光協会

〒999-7781 山形県東田川郡庄内町余目字沢田108-1

TEL.0234-42-2922 FAX.0234-43-6422

mail : shokokanko@town.shonai.lg.jp